

# 平成30年度小松島市事務事業評価シート

<b>■事業の位置づけ（基本事項）</b>				<b>整理番号</b>	7 - 2 - 10
<b>事務事業名</b>	公民館整備事業			<b>担当課係</b>	生涯学習課
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>政策</b>	② ひとりひとりが輝けるまちづくり		<b>記入担当者</b>	
	<b>基本目標</b>	6. 心豊かなひとづくり		<b>内線等</b>	
	<b>施策</b>	6-1 教育の充実と文化の振興		<b>E-mail</b>	
	<b>基本方針</b>	6-1-3 生涯学習・スポーツの推進			
<b>事業の実施主体</b>				<b>事業区分</b>	経常事業
<b>事業予算費目</b>	<b>款</b>	10	教育費	<b>項</b>	5 社会教育費
	<b>目</b>	2	公民館費	<b>事業</b>	6 公民館整備事業
<b>開始年度</b>	29	<b>年度</b>	根拠法令・要綱等 建築物の耐震改修の促進に関する法律		

<b>事業の対象</b>	(誰の、何のために事業を実施するのか) 北小松島公民館移転改修工事、北小松島公民館駐車場整備工事、旧榊洲公民館解体工事など。
<b>事業の目的</b> (意図)	(事業実施によってどういう状態にしたいのか) 公民館の耐震問題を解決し、生涯学習の拠点となる施設の整備を図る。
<b>事業の内容</b> (内容・手法等)	(こういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか) 耐震問題のある公民館のうち、旧榊洲公民館の解体、北小松島公民館の転用改修など、順次施設の整備を完了した。
<b>事業の背景</b> (経緯等)	(事業開始の背景やこれまでの経緯) 本市において、小中学校・幼稚園・本庁舎の耐震補強工事が完了している中、多くの市民が利用する公民館も早急に耐震問題を解決しなければならない。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果		
	単位		H29	H30	R1	R2		数値化、指標化が難しい。	
	目標						目標年度 目標値		
	実績								
活動実績・参考となる指標	指標名		単位		H29	H30	R1	R2	指標の説明
	消耗品費	円	計画		7,828		10,127,000		
			実績		4,363	76,076			
	委託料	円	計画		128,586				
実績				73,317	1,001,160				
工事請負費	円	計画			40,962,715			榊洲公民館、北小松島公民館の工事請負費	
備品購入費	円	計画							改修工事後の公民館に必要な備品購入費
		実績			609,549				

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		29年度決算	30年度決算	30年度予算	R1年度予算		
全体コスト(円)	関連事業費	A 直接事業費	78,103,184	42,649,500	46,713,000	10,127,000	
		財源内訳	国県支出金	34,076,000			
			地方債	30,300,000	32,400,000		
			利用者負担				
		一般財源	13,727,184	10,249,500			
	B 人件費 ①×②	3,596,391	2,222,731				
	職員平均人件費①	8,990,977	5,556,828				
	従事した割合②/人	0.40	0.40				
	A + B	81,699,575	44,872,231				
	単位コスト	活動指標の説明				備考	
	活動指標 1 単位当たりコスト				平成29年4月1日現在 人口38,817人		
	市民一人あたりのコスト	2,105	1,176		平成30年4月1日現在 人口38,156人		

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 公共施設の耐震問題は本市のみならず、国の重要施策であり、各地方公共団体とも急務として取り組んでいる。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 災害発生時に避難場所となる公民館の耐震問題の解決は必要不可欠であり、利用者の安全確保という観点からも早期の完了が望まれている。また、改修、改築の際にはトイレ等一部バリアフリー化するなど、高齢者や障がい者にやさしい施設にしてほしい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	建物の構造耐震指標 (IS値) の低い施設の耐震問題を解決することにより、利用者の安全性が確保できる。また、避難所としての機能が保てる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	市が直接実施するように法律、法令等で義務付けられている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	閉園した耐震性のある北小松島幼稚園を北小松島公民館として利用するために、大規模改修工事をおこなった。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	生涯学習活動及び地域活動を推進するため、また災害時に避難所としての役割を果たす公民館の耐震問題の解決は重要かつ急務である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	日峯大神子広域公園(脇谷地区)整備事業に伴い、移転を余儀なくされた北小松島公民館の代替施設として閉園した北小松島幼稚園を使用するための大規模改修工事が完了した。改築工事がしゅん工した旧櫛淵公民館の解体工事が完了した。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	耐震診断の結果をもとに、速やかに移転新築工事又は改築工事で耐震問題を解決し、災害被害の減少を図る。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	2	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由	建物の構造耐震指標 (IS値) 等の結果により、転用改修工事や解体工事を完了させた。早期に耐震化を完了させ、市民が安全安心で快適に利用できる施設とした。		
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点					
		3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点				評価点	79
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点				2	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下					

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	2	1 拡 充 す る	判定説明	本事業を推進するためには、個別施設計画の策定が急務である。また、公民館の耐震問題を解決するため関係者との協議も進めなければならない。
		2 現状のまま継続する		
		3 改善・効率化し継続		
		4 終期設定し終了		
		5 完了・休止・廃止		